

自然ウォッチングの記録

- 鳥 ミジロ、エナガ、コゲラ、アオゲラ、アオジ、キジバト、ヒヨドリ、ハシブトガラス、マガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンロハジロ、ミコアイサ、カワウ、ダイサギ、アオサギ
- 花 サザンカ、ヤツデ、シキサクラ、ホソバヒラギナンテン、モチツツジ、サツキ
- 実 センリョウ、ヤブコウジ、マンリョウ、カナメモチ、ソゴ、シャシャンボ、フユイチゴ、ムラサキシキブ、ヒサカキ、他
- 昆虫 フユシャク SP、ガガンボ SP、アサギマダラ(幼)



センリョウ

ウォッチングの中から



シャシャンボ

11月から低温傾向が続きますが、この日も手がかじかむ真冬の冷たい雨となりました。

本来春に咲くモチツツジはこの時期にも時々咲きますが、いこいの森でサツキがたくさん咲いていたのはちょっと驚きました。今年の気象に関係があるのでしょうか。

台湾などの暖かい地方で越冬するはずのアサギマダラの幼虫が見られたのは不思議です。繁殖への僅かな可能性をかけての挑戦でしょうか。

今年はフユイチゴの実が豊作です。シャシャンボもなかなか美味しいのですが、より甘いフユイチゴの方が人気でした。



フユイチゴ

なるほど植物園

環天頂アーチ①

11/26(日)の朝、「環天頂アーチ」という珍しい光学現象が見られました。私にとっては 2001 年 4 月以来の再会でしたが、当時はネットで調べることもできず、正体を知るのに苦労したものです。



環天頂アーチとは、“虹色の帯”が天頂付近に現れる現象で、本来の虹が太陽を背にして向正面に大きな虹彩の輪を作るの

に対し、環天頂アーチは太陽の上方46度付近に上弦の弧を描きます。出現頻度が少ない上に天頂は視界に入りにくいので、なかなか出会うことができません。この日は、里山市場とフリーマーケットの準備でにぎわう案内所前で 8 時 35 分ころに見つけました。

発見者はもちろん私です。と言うのは環天頂アーチやブロッケン妖怪など私は光学ファンでもあり、それなりの予備知識があったからです。すぐさま園内放送でお知らせして多くの方に見ていただきましたが、その時はあえて分かりやすい「逆さ虹」という表現にしました。写真はその時に急いで撮った(強調してあります)ものです。

光は屈折や回折などの物理作用で赤黄緑青などに分光し、宙にいろいろな色模様を描きます。環天頂アーチは氷の結晶の 90 度の角を光が通過するときに生まれるもので、より詳しい解説は次号でいたしますが出現は上空に薄雲があつてかつ無風に近いときの朝夕に限られます。

5 分もたたないうちにアーチは消えてしまいましたがこの日は条件がよかったようで、9 時 15 分頃にも数分間現れました。美しく神秘的な空の光のショーに心が躍りました。

(高谷)

この情報紙のメール配信(無料)ご希望の方は、愛知県森林公園の公式サイトを開き、【コンペイトウの森通信】のバナーからお申し込みください

発行 2017. 12. 9
愛知県森林公園指定管理者 ウッドフレンズ
共同企業体 (株)ウッドフレンズ/(株)フジプロパティ/
(株)建光社 0561-53-1551

「森でフィットネス」第 1(水)10:00～ 「自然ウォッチング」第 2(金)9:30～ 「道草ウォーキング」第 3(水)10:00～
「コンペイトウの森通信」の名称は、シラタマホシクサの別名コンペイトウグサから採用しました。